

今回は「胃ろう」について考えてみたいと思います。

胃ろうとは、“経口摂取困難な患者に対し、人為的に皮膚と胃にトンネルを作成しチューブを留置し、水分・栄養を流入させるための処置”です。適応患者は、何らかの理由により口から食事を摂れなくなった人となっています。高齢患者の適応が、最近問題になっていますので、次の事例についての皆さんの意見を教えて下さい。

事例

Aさんは、75歳・男性・70歳妻と二人暮らし。子供は息子・娘一人ずつで、ともに結婚し近くにそれぞれの家庭を持って暮らしています。夫婦二人とも健康な方で、元気に夫婦二人で共通の趣味の謡を楽しくやっていました。しかし、ある日突然Aさんは自宅で倒れ、救急病院へ運ばれました。検査で脳卒中と診断され治療をしましたが、治療後も自分では体を動かさずと意識障害が残りました。そのため、家族がお見舞いに来て意思疎通はできず、家族を目で追って言葉にならない言葉を発する程度で解っているのか判断できません。食物を飲み込むことも困難で、高カロリーの点滴を行なっています。元来健康であるため、心臓や他の臓器は健康に問題なく働いています。入院後2週間経ち、症状が上記のように固定し、病院との話し合いが行なわれました。話の内容は下記の様な事です。

1. 栄養を与えるには口からは困難で、胃ろうという方法しかない。
2. 胃ろうからの栄養で全身状態が安定する可能性はあるが、意識レベル等が良くなる可能性は低い。点滴・胃ろうを行なわなければ、一ヶ月程度の余命である。
3. 急性期病院では入院適応でなく、慢性期病院へ転院するなら胃ろうが必要である。
4. 何もしないで自然に任せるなら、在宅医療が可能な医療機関を検討して下さい。

(Aさん自身は、当然自分自身で意思決定はできない。ただ元気な時は、自然に楽に死にたいという事は言っていました。はっきりした書類があるわけではない)

Q1: あなたは、胃ろうを知っていましたか?

- ① はい (a 家族にいる (いた) b 家族にいない) ② いいえ

Q2: あなたが家族なら、Aさんに胃ろうを造りますか?

- ① はい ② いいえ

Q3: 各々の答えの理由をできるだけ多く書いて下さい。(例; 若いから。本人の希望等)

- () () ()
() () ()
() () ()

Q4: 選ばなかった方へ (①なら②、②なら①) 変える条件があれば書いて下さい (例: 超高齢、反応がある等)

- () () ()
() () ()
() () ()

Q5: もしAさんが自分だったら胃ろうを造って欲しいですか?

- ① はい ② いいえ ③ 家族にまかせる

Q6: 胃ろうに関して、意見・質問等を書いて下さい。

- () () ()
() () ()
() () ()